

学習内容報告書 フォーマット

学校名	下関市立養治小学校
授業者	福田真也 村重仁美

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

関門海峡展を開こう

1-2. 学年

3・4年生

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間・図画工作科・国語科

1-4. 単元の概要

図画工作科のいくつかの単元を、総合的な学習の時間や国語科と連動し、「海」や「いのち」に関する作品づくりを行う。それらの作品の中から自分が伝えたい作品をいくつか選び、国語科の学習で紹介文を書く活動を行う。総合的な学習の時間では、学習のまとめとして「関門海峡展」の企画と展示を行う。展覧会の場所は、市内の子育て支援施設「ふくふくこども館」と市立しものせき水族館「海響館」である。

図画工作科では、年間を通していくつかの単元で「海」や「いのち」について制作したり、鑑賞し合ったりする中で子供たちがお互いの体験や表現を交換し合う。また、海の画家や下関市立美術館と一緒に鑑賞学習を行い、表現の多様性や、作家が海に込める熱い思いに触れる。

「関門海峡展」へ向けては、自分たちでチラシやポスターを制作して地域に配付したり、案内の手紙を書いたりする。また、海響館の展示は自分たちで搬入して行う。学芸員さんの指示や展示の方法についての説明を聞き、自分たちの作品が多くの人に伝わるためにはどのようにしたらよいか考え、行動できるようにする。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

生活や社会との関わりが希薄になる中、その中にある造形的なよさや美しさを感じ、自分なりに表現できる題材として、「海」や「いのち」は有効に働くと考えている。作品だけではなく、国語科で制作される作品のキャプションには、これまでに児童が体験した「海」や「いのち」に関する体験、心情の育ちが反映されることを期待する。



また、コロナ禍でチラシやビラを観光客に直接配る活動などに制限がかかる中、自分たちの学習した関門海峡のことをより鮮やかに伝える手段として、図画工作科での作品制作は有効である。作品を通し、一般市民や保護者、観光客等との対話が生まれ、自分たちの体験や思いを伝えることができるというねらいもある。





1-6. 育みたい資質や能力、態度

<総合的な学習の時間> (知識・理解) 展覧会を開くにあたり、どんな作品が望ましいか、伝えたい思いは何か、展示の方法は何か分かっている。(思考・判断・表現) 展示される作品やキャプションから効果的な展示の方法はどうであるかを考えたり、チラシを作成するにあたってどんな言葉やレイアウトで行えばよいのかを考え、伝え合ったり表現したりできる。(学びに向かう力) 進んで展示に関わったり、アイデアを出したり、準備をしたりすることができる。

<図画工作科> (知識・理解) 「海」や「いのち」の中にある造形的なよさや美しさに気付き理解している。(思考・判断・表現) 様々な体験を思い出したり、友達と鑑賞し合ったり、材料に触れたりする中で、自分が感じた「海」や「いのち」をどのように表せばよいか考え構想することができる。(学びに向かう力) 「海」や「いのち」の中にある造形的なよさや美しさに関わり、進んで鑑賞したり表現したりすることができる。

1-7. 単元の展開 (全時間)

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
2	<p>「海のファンタジー」に関する鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の画家の絵を鑑賞する。 ・自分たちの表した「いのちのかたち」を相互鑑賞する。 ・「海の色」で表したい色を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○画家の絵を画家とともに対話的に鑑賞し、海の絵から感じたことを言葉で発表させる。 ○自分達の表した絵から伝えたいことを相互に鑑賞させる。多様性を認め合うように促す。 ○グループで対話させながら、ワークシートに、表したい色を考え記入させる。 ・「海のファンタジー」の絵を見たり、画家の発言を聞いたりして感じたことから、自分ならどう表すかを考えている。(思考・判断・表現) <p><外部連携>海の画家みやざきすうじ氏 <使用教材>画家の作品実物 ワークシート</p>
4	<p>「海の色」の表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボードまたは画用紙に、自分たちの表したい海の色を工夫して表す。 ・自分たちの描いた作品を互いに鑑賞し合い、造形的なよさや美しさを見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○共用絵の具を用い、絵の具の効果(にじみ、混色、流れやその調和的な感じ)に気付くように静かに活動に集中させる。試し描きができるように予備の用紙を準備し、自分の納得のいく色が作れる環境にする。 ○鑑賞では、互いのよさや表現の多様性を認める発言をするように促す。 ・その場でおこった絵の具の効果や、体験から沸き起こる自分のイメージを大切にしながら、海の色を考え、表している。(思考・判断・表現) <p><使用教材>ホワイト段ボールボード 共用絵の具 絵の具セット</p>

<p>1</p>	<p>「海」に関する鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術館の所蔵品を鑑賞し、世界各国の海の表現の多様性を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○造形要素や主題、色彩やタッチ、描画材など絵を見るために必要な視点を明示することによって、表現の多様性により深く気付くことができるようにする。 ・様々な造形的なよさや美しさ、表現主題を感じ取りながら、「海」に関する表現の多様性を味わうことができている。(知識・理解) <p><外部連携> 下関市立美術館 学芸員 <使用教材> プロジェクタ スクリーン</p>
<p>6</p>	<p>共同制作 関門海峡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関門海峡の海をイメージした絵の具遊びをする。 ・自分たちが感じた「関門海峡」をコラージュで表す。  	<ul style="list-style-type: none"> ○手や足、体全体を使って絵の具遊びを楽しみ、海のイメージを表すように促す。 ○有志のチームに分かれて「関門橋」「巖流島」「養治小学校」「唐戸市場」「海響館」などをコラージュで作成するように促す。色画用紙や、画用紙、のりや段ボール、両面テープなど適宜材料を選択させる。 ・自分たちの体験を想起しながら「関門海峡」を表したり、材料からイメージをふくらませて、どう表すか考えている。(思考・判断・表現) <p><使用教材> ケントロール紙 パス ポスターカラー マジック 色鉛筆 折り紙 色画用紙 海洋ゴミのプラスチックや発泡スチロール、木くずボンド のり 両面テープ など</p>
<p>1</p>	<p>関門海峡展を開こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に作品を搬入し、ジオラマ（3年生が図画工作科で制作）や、共同制作のコラージュを展示する。 ・展示を行うにあたり、学芸員さんの指示を聞き、どのように展示したらよいのか考える。 ・海響館の大きな空間に置かれた作品を鑑賞し、気付いたことを伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分で自分の作品をていねいに運ぶように指示する。 ○共同制作を協力して展示するほか、床や壁などに汚れがないかの見かじめをさせる。 ・自分たちの伝えたいことが伝わるにはどのように展示をしたらよいか、考えることができる。(思考・判断・表現) ・空間におかれた作品の造形的なよさや美しさ、海響館に展示されることの意義に気付くことができる。(知識・理解)

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

関門海峡展の作品（海のジオラマ、共同制作関門海峡）の展示を自分たちで行うことを通して、自分たちの作品に込めた思いが伝わるにはどうすればよいのかを考え実行したり、友達と協力して準備や後片付けをすることができる。（総合的な学習の時間）（学びに向かう力）

また、海響館の大きな空間に置かれた作品の造形的なよさや美しさを味わい、海響館に作品が展示されることの意義に気付いたりすることによって、つくりだす喜びを味わう。（図画工作科）（学びに向かう力）

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1. 海響館のワローホールに作品を搬入し、学芸員さんの指示を聞く。</p> <p><学芸員さんの話></p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉がない作品が置かれる意味 →多くの人に伝えることができる ・水族館に見に来る人はどんな人か →市民ではない人や、観光客、海外の人もいる ・人の動線を考えて作品を置くこと →見え方の工夫をすること <p>2. 作品を展示する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の作品を展示しよう。 ・パンフレットを置こう。（4年生が学習のまとめとして作成） ・作品を置くときに出たゴミを拾おう。 ・しわのないようにきれいに布をかぶせよう。 ・光のあたるように展示しよう。 ・思いが伝わるように工夫しよう。 ・大きくて迫力がある。 ・クジラの骨にも負けてない。 <p>3. 学芸員さんとともに作品を鑑賞し、気付いたことを伝え合う。</p> <p><学芸員さんの話></p>	<p>○学芸員さんの指示を聞き、自分たちで考えて動くことができるように支援する。</p> <p>○考えながら自分の作品やみんなで作った作品を展示するよう指示し、ゴミが落ちていないか、手の足りないところはないか、自分たちで声を掛け合うようにさせる。</p> <p>・自分たちの作品に対する思いを伝えるために、友達と協力して展示を行い、その意義を味わうことができる。（学びに向かう力）</p> <p>○「空間の中に置かれた作品を見てどう思うか。」 「実際に展示をしてみてどう思うか。」と二つの発問を用意することになり、複数の視点から振り返りが</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・作品の評価・印象 →全く下関を知らない人にもよく伝わる表現ができています。 →これまでの豊かな学びが表現に現れていて素晴らしい。海のこと、命のこと、海洋ゴミに対する気持ちをととても感じる。 ・自分たちの作品の見え方が変わった。迫力があってすごい。 ・作品が展示でき、夢がかなった。 ・総合的な学習の時間のパネルと一緒に鑑賞してもらって、ぼくたちの学びを知ってほしい。 ・たくさんの人にこの思いが伝わってほしい。 	<p>できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海響館の大きな空間に置かれた作品の造形的なよさや美しさを味わい、海響館に作品が展示されることの意義に気付いたりすることによって、つくりだす喜びを味わう。(学びに向かう力)
--	---

3. 今回の活動の自己評価

<p><総合的な学習の時間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちは、展覧会を開くにあたり、どんな作品がのぞましいか、伝えたい思いは何か、展示の方法は何かなど、実行委員の子供たちを中心に計画的・共同的に、学年の枠を越えて3・4年生で活動できた。 ・展示される作品やキャプションから効果的な展示の方法はどうであるかを考えたり、チラシを作成するにあたってどんな言葉やレイアウトで行えばよいのかを考え、伝え合ったり表現したりすることにより、「海」や「いのち」、「関門海峡」に対する思いを一層深いものにすることができた。 ・また、コロナ禍で活動に制限がある中、美術作品の展示は効果的であり、多くの子供が保護者を誘って展示を観に行き、保護者からも「感動した、海の生物や環境への思いが伝わってきた。」とアンケートなどで回答をいただくことができおり、反響を感じている。 ・作品展では、美術作品だけではなく、学びのまとめとして、パンフレットを作成し、設置することができた。(4年生) 設置したパンフレットは多くの人が興味をもって取られていき、数が減るたびに子供たちは喜んでいました。 ・子供たちは、様々な体験を思い出したり、友達と鑑賞し合ったり、材料に触れたりする中で、自分が感じた「海」や「いのち」をどのように表せばよいか考え構想したり、鑑賞したりすることができた。これによって、生活や社会の中にある造形的なよさや美しさを感じる子供が多く育った。 ・また、多くの方々から得られた反響の言葉が、子供たちのつくりだす喜びを一層大きくした。
--

4. 今後の課題

<p>今回の展示では多くの保護者の方々に間接的に関わることができた。懇談会でその意図や制作過程などを伝えると、さらに多くの保護者の方々が喜んでくださった。展示の意図や、制作過程を適切に保護者に伝えていくことは、今後もしっかりとやっていきたいと思った。</p> <p>なお、パンフレットを配ったり、海響館の現地でガイドをしたりする活動については、今年度は感染状況を鑑みて行うことができなかったが、今後はそれらの活動も視野に入れて取り組んでいくことによって、子供たちの学びに向かう力を高めていきたいと考えている。</p>
--

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。